

現代ビジネス学部
UEHARA Emi
PROFILE
<b>職名</b> 現代ビジネス学部 都市環境デザイン学科教授
<b>学歴</b> 東京大学教養学部教養学科 国際関係論分科卒業（1968）
<b>学位</b> 教養学士（東京大学、1968）
<b>所属学会</b> 自治体学会、文化経済学会、 日本音楽芸術マネジメント 学会
<b>専門分野</b> 文化政策、まちづくり、文 化施設論

# 上原 恵美

うえはら えみ

研究課題1 ●文化政策に関する研究

研究課題2 ●文化施設の運営・経営に関する研究

研究課題3 ●舞台芸術の制作に関する研究

## 業 績

### 【著書】

『地域の自立めざして』／『男女共同参加社会』と自治体行政の中の女性職員のあり方」、公人社、1988年7月、共著。

『我らネットワーク元気人』／「淡海ネットワークセンター設立の経緯」『ひと・まちネット滋賀』について思う」、サンライズ出版、2000年10月、共著。

『文化政策入門—文化の風が社会を変える—』／「文化を創る人々 1. 芸術文化の経営」、丸善ライブラリー、2001年2月、共著。

『今、市民の図書館は何をすべきか』／「前川恒雄と図書館『滋賀県の図書館と前川恒雄さん』」、出版ニュース社、2001年4月、共著。

『文化政策学の展開』／「Ⅲ文化マネジメントの諸相 11. 文化マネジメントの実態」、晃洋書房、2003年3月、共著。

『びわ湖ホール オペラをつくる 創造し発信する劇場』、新評論、2007年3月、共著。

『次世代への贈りもの 滋賀の文化政策～1970年代から21世紀へ』、サンライズ出版、2008年8月、単著。

### 【その他】

＜評論＞「男女共同参画と自治体職員」／『自治体学会ニュースレター』No.99、2003年1月、単著。

＜評論＞「男らしさ、女らしさをめぐって」／No.136近畿郵政局人権啓発室、2003年2月、単著。

＜評論＞「自治体で仕事をする女性たち」／女性史学、2003年7月、単著。

＜解説・紹介＞「滋賀の文化施設」／『湖国と文化』105号、(財)滋賀県文化振興事業団、2003年10月、単著。

＜座談会記録＞「地域の文化力で日本を元気に」／『文部科学時報』No.1531、平成15年11月号、ぎょうせい、2003年11月、共著。

＜紹介記事＞「次世代への贈り物」2p／「芸術情報アートエクスプレス」、vol.19(社)全国公立文化施設協会 芸術情報プラザ、2004年11月、単著。

＜提言＞「文化、芸術は地域の力」／京都新聞、2004年12月、単著。

＜評論＞「自治体女性職員の現在」／自治体学会ニュースレター117号、2006年2月、単著。

＜巻頭言＞「びわ湖の夏 オペラ・ビエンナーレ」／通信協会雑誌5月号、2006年5月、単著。

＜評論＞「劇場での仕事—滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールを例に」／「日本労働研究雑誌」、2006年4月号、単著。

＜書評＞小林真理編著「指定管理者制度 文化的公共性を支えるのは誰か」／『文化経済学』第5巻第3号、2007年3月、単著。

＜評論＞「文化権について」／『人権21』No.187、2007年4月、単著。

＜寄稿＞「滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールのこれまでの取り組みと今後の展望」／『文化経済学』第5巻第4号、2007年9月、単著。

＜評論＞「文化政策は不要か？」／『ひょうご経済』No.99、2008年7月、単著。

＜評論＞「今、なぜ文化政策なのか」／京都新聞『私論公論』、2008年11月、単著。

＜インタビュー＞「滋賀の図書館づくりに関わって」／滋賀県公共図書館協議会『滋賀の図書館2008』、2009年3月。

### 【講演】

「芸術の果たす社会的役割」／関西プレスクラブ、大阪ヒルトンホテル、2004年4月。

「劇場は何を果たすべきところなのか～指定管理者制度への問題提起」／鳥取県文化施設協議会、鳥取県民文化会館、2004年12月、単独。

「公立文化ホール・劇場の文化活動をとりまく現状」／地域創造ステージ・ラボ、京都市立芸術文化センター、2005年2月、単独。

「劇場は何を果たすべきところなのか」／大阪府文化施設協議会館長会議、浪切ホール、2005年2月。

「今、なぜ、男女共同参画なのか」／城陽市管理職人権啓発研修、城陽市鴻の巣会館、2005年9月、単独。

「劇場—アーツマネージメントからホールマネージメントへ」／文化庁・(社)全国公立文化施設協会主催アーツマネージメントセミナー、国立オリンピック青少年総合センター、2006年2月、共同。

「地域文化の創造と発展を目指して」／東京藝術大学主催文化政策・地域文化振興フォーラム in 千住、シアター1010特設会場、2006年10月、共同。

「創造型劇場のこれまでとこれから」／文化経済学会2007年次研究大会、彩の国さいたま芸術劇場、2007年6月、共同。

「びわ湖ホール問題が投げかけたもの—指定管理者制度と公共性」／「都市政策の課題と芸術文化の役割に関する研究」グループ、東京大学本郷キャンパス、2008年5月、単独。

「びわ湖ホール問題について」／日本音楽マネジメント学会設立記念シンポジウム／昭和音楽大学、2008年6月、単独。

「都市と文化～文化政策における公共性」／大阪文化フォーラム、吹田メイシアター、2008年6月、共同。中川幾郎帝塚山大学教授、藤野一夫神戸大学教授。

「滋賀の図書館振興策」／滋賀県図書館員専門講座、滋賀県立図書館、2008年7月、単独。

「美術館・ホールなどを核にした地域文化の振興」／市町村アカデミー・自治政策研修課程、市町村職員中央研修所、2008年7月、単独。

「文化がマチを再生する！～いま、何を考え、何をなすべきなのか」／歴史ゼミナール四日市、四日市市文化会館、2009年7月、共同、平田オリザ、中川幾郎。

「オペラへの招待」／京都大学統合科学の展望、2010年5月、単独。

「地方で文化の仕事にかかわって」／大分県立芸術文化短期大学、2010年6月、単独。

「周辺から見た大阪の文化状況」／大阪創造都市市民会議、2010年8月、単独。

「プロデューサーの仕事」／大阪音楽大学、2010年10月、単独。